校長室からつぶやき・・・
『ツイート』新聞

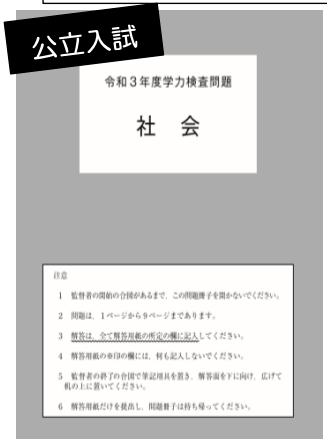
宇美町立宇美南中学校
第13号
文責　校長　熊本　寿美
令和３年６月17日(木)

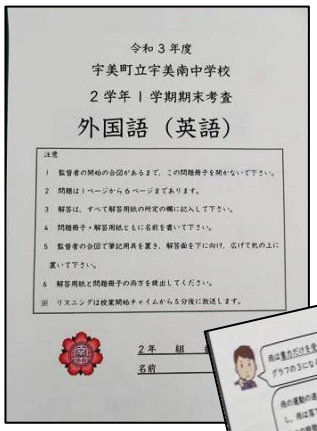
１学期期末考査。問題作成に奮闘しています。

６月１０日（木）１１日（金）に１学期の学習内容の定着度を確認する期末考査を実施しました。朝の登校後に級友と一緒に勉強する姿やテストに時間いっぱいに取り組む生徒たち姿が見られました。

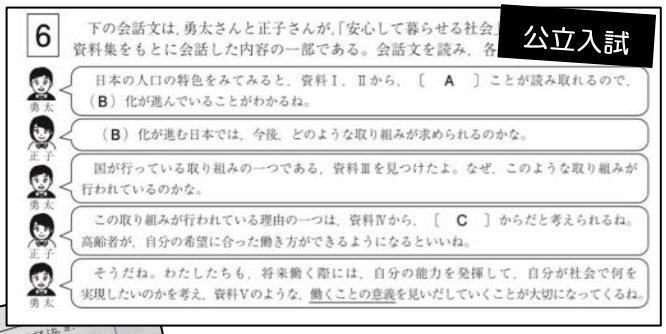
定期考査の問題作成においては、県学力調査や全国学力学習状況調査、福岡県立高等学校入学者選抜試験の出題傾向や結果の分析を行い、日常の学習指導につなぐ内容や問題構成を工夫して、教科担当者が作成しています。今回の期末考査においても、長文の問題文、会話文による出題、豊富な情報量の資料提示、実生活と関連付けた設問等、工夫した問題が出題されていました。また、内容においても、一問一答ではなく、資料から必要な情報を読み取ったり、活用したりして解答するものや、英文を読み取り、自分の考えを示された条件に基づいて英文にして解答するものなど、新たな評価の観点での問題作成を追究しています。

様式や表紙は、公立入試をモデルに。

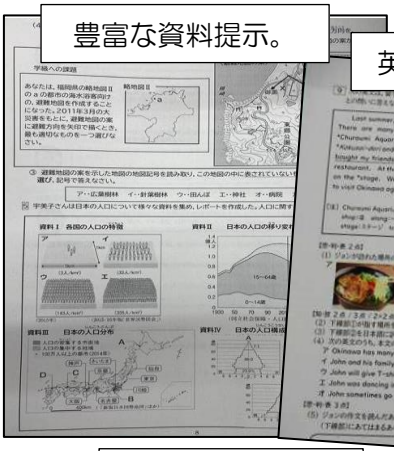




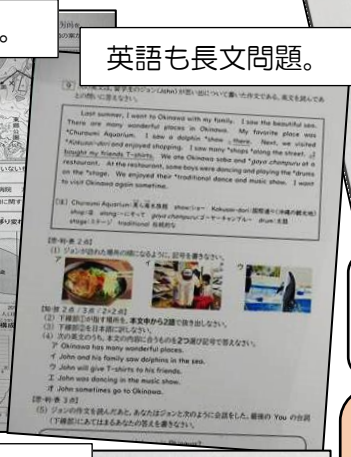
会話文の出題も工夫。

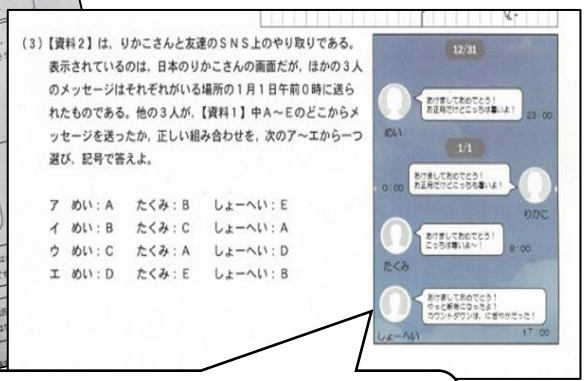


豊富な資料提示。

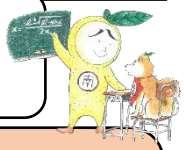


英語も長文問題。

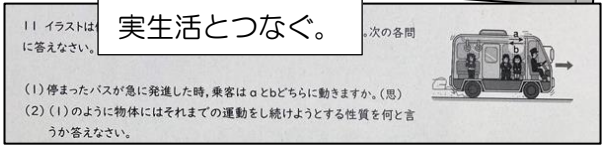




１学年社会科では、時差に関する問題をLINE風に出題。設問への関心度もアップ。



実生活とつなぐ。



テストが戻ってきたら、問題文をよく読み直して、解き直してみましょう。問題文の解釈が深まり、間違いへの気づきや理解が深まります。そして、学びは、人に説明したり教えたりすることで、より一層定着します。

「鍛えて・ほめて・励まして」　南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり